

コミュニティバス「草津・栗東・守山くるっとバス」キャッシュレス決済導入

①導入の理由

現在、くるっとバスの支払方法は現金、回数券となっており、キャッシュレス化が進むなかで、利用者からキャッシュレス導入の要望が多くある。また、車両の運行を担うバス事業者は深刻な人員不足であり、今後、業務負担を理由に運行を継続できない事態が懸念されるため、キャッシュレス化により、利用者の運賃確認や売上計算等の業務負担を軽減することで、運行の維持にもつながる。

さらに、運行距離が長く遅延が発生している時もあり、キャッシュレス化により乗降時間を短縮することでダイヤの安定につながるとともに、利用者の利便性向上・運行事業者の運転時間短縮などが見込める。

②キャッシュレス化のメリット

- | | |
|--------------|--------------------------|
| ・利便性向上(利用者) | ・小銭の準備不要、決済スピード向上 |
| ・業務負担軽減(事業者) | ・利用者の運賃確認、売上計算等の業務削減 |
| ・業務負担軽減(市) | ・問い合わせ対応の減少 |
| ・DX、ICT活用 | ・利用状況等のデータ収集、分析、課題解決に繋げる |

③導入システム

ICOCA(JR西日本テクシア)

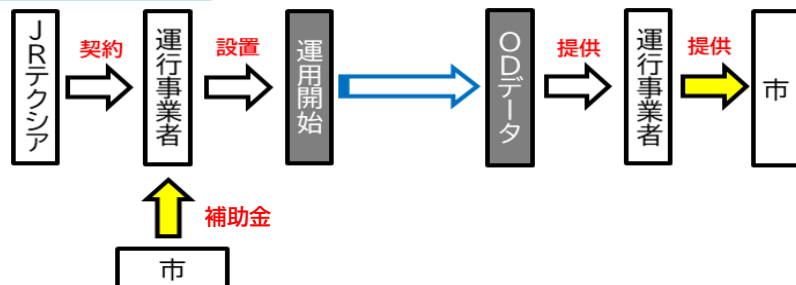
●ICリーダー



●基盤システム



⑤導入・運用方法



④利用方法

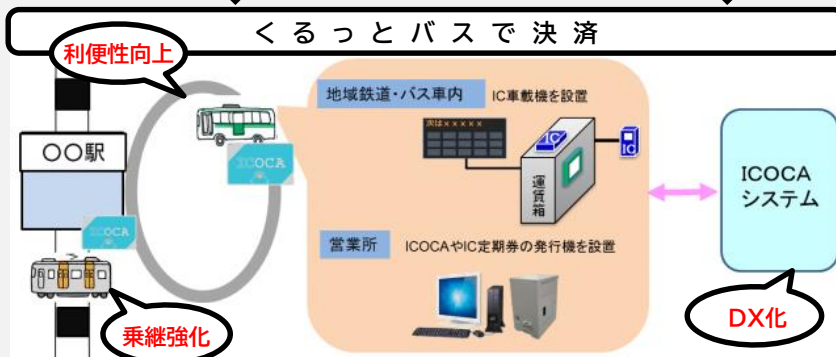
●利用可能な決済方法



<交通系ICカード>



<モバイルICOCA>



- ・キャッシュレス決済により、**決済スピード向上**、**小銭不要となり利便性向上**
- ・他の公共交通との共通決済方法を導入することにより、**乗り継ぎ強化**

⑥スケジュール

年度		令和6年度							
月		4	5	6	7	8	9	10	
くるっとバス	運用開始								
	契約								
	取付、試験								
	周知								

コミュニティバス「草津・栗東・守山くるとバス」乗降システム・検索機能導入

①導入の理由

現在、くるとバスは各路線の全体の利用者数を把握するために運転手が集計しているが、各停留所の利用者数は把握できていないことから、本システムの導入により正確な乗降者数が把握できるとともに、今後の制度改善などに活用ができる。

また、くるとバスは本数が少なく、乗り遅れた際の代替便がないなか、運行距離が長く遅延が発生するときもあることから、本システムに付随する検索機能により、近くの停留所およびそのダイヤ、バスの遅延情報や現在位置情報等の運行状況がスマホなどで確認ができるため、利用者の利便性向上が見込める。

②主な機能

・乗降者数の記録、集計

・各停留所の乗降者数が把握でき、**路線等の制度改善などに活用**

・時刻表、ルート検索

・2タップで簡単に乗りたい便を確認でき、**幅広い年齢層に対応**

・運行状況確認

・遅延状況や混雑状況等を確認でき、**利用者の利便性向上**

③導入システム

- ・カメラセンサー
- ・バスロケ専用機
- ・系統情報連携機

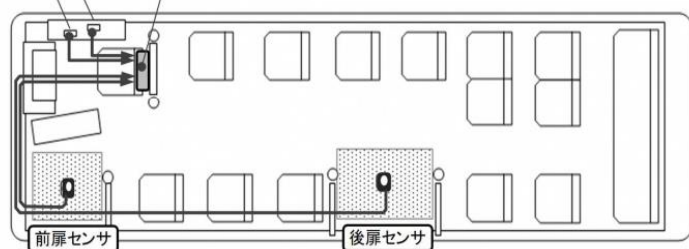
●取付参考写真（前扉）



配線(モール仕上げ)

センサ以外の機器は
運転席後の板に配置

扉操作スイッチ



運行ダイヤ、運行ルート、運行状況の検索機能(利用者)

一番近いバス停とバスの出発時間・運行状況が分かります！



トップページ



ちかい順に表示



到着順に表示



バスの現在地を表示

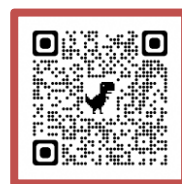
乗車可能人数や車内の混雑状況もお知らせできます！



分かりやすい
時刻表



運行ルート
(グーグルマップ)



QRコード
(参考・他市事例)



デジタルサイネージ
活用

・時刻表や停留所の位置、運行情報や混雑状況等が簡単に検索でき、**バス利用者の利便性向上！**